2026 年 11 月 12 日

各位

上場会社名　DIC株式会社
代表者　代表取締役社長執行役員　池田　尚志
（コード番号 4631）
問合せ先責任者　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部長　三宅　圭介
（TEL 03-6733-3033）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年8月 10 日に公表した 2026 年 12 月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせします。

1. 2026 年 12 月期通期連結業績予想の修正(2026 年1月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想（A）	1,140,000	78,000	73,000	48,000	507.99
今回修正予想（B）	1,180,000	100,000	98,000	58,000	615.60
増減額（B-A）	40,000	22,000	25,000	10,000	
増減率(%)	3.5	28.2	34.2	20.8	
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	1,052,194	52,192	44,250	32,353	341.71

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間の業績につきまして、ファンクショナルプロダクツセグメントでは旺盛な AI 半導体需要などを背景にデジタル分野におけるエポキシ樹脂や工業用テープなど、並びにパッケージング＆グラフィックセグメントではジェットインキやセキュリティインキなどの高付加価値製品が出荷を伸ばしました。また、印刷インキやコーティング用樹脂の一部製品において、上期に発生した海外を中心とした中東情勢の長期化を見越した顧客による在庫積み増しの動きに対し、当第3四半期における反動が想定より緩やかでした。更に、各セグメントにおいて原料価格高騰に対する速やかな価格対応やコスト管理の徹底に努めました。これらの結果、売上高並びに営業利益は想定を上回る水準で推移しました。

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績と今後想定される事業リスク等を踏まえ算定し直した結果、売上高並びに営業利益以下の各段階利益が前回予想を上回る見通しとなりました。

※上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものですが、実際の業績は記載している予想数値と異なる可能性があります。

以　上